

専門研究B

言語障害のある子どもの通常の学級における 障害特性に応じた指導・支援の内容・方法 に関する研究

—通常の学級と通級指導教室の連携を通して—

(平成22年度～23年度)

研究成果報告書

平成24年3月



独立行政法人
国立特別支援教育総合研究所

はじめに

本報告書は平成22年度－平成23年度専門研究B「言語障害のある子どもの通常の学級における障害特性に応じた指導・支援の内容・方法に関する研究－通常の学級と通級指導教室の連携を通して－」の研究成果をまとめたものである。

言語障害教育においては、対象とする言語障害（構音障害、吃音、言語発達の遅れ）のある子どもの個々の言語症状の改善や言語力の伸張、自己の言語障害についての理解や言語障害に起因して生じる問題の解決等に向けて、通級指導教室等の個別の場での指導・支援の在り方を中心として実践及び研究が進められてきた。

言語障害のある子どもは、学校においてはほとんどの時間を通常の学級で過ごし、一部の時間、通級指導教室等で上記のような言語障害に関わる指導を受けている場合が多い。すなわち言語障害のある子どもの学校生活の基盤は通常の学級にあると言ってよい。その通常の学級での生活や学習を円滑にするために、通級指導教室等の言語障害教育担当者は何ができるのか。本研究の着想に至った観点はそこにある。たしかにこれまでに上記の実践・研究によって蓄積されてきた指導・支援の在り方も、言語障害のある子どもの通常の学級での生活につながるものであると考えられるが、本研究では、そうした通級指導教室等における個々へのアプローチ以外にも、通常の学級と通級指導教室の連携を通して、言語障害のある子どもの通常の学級での学習や生活に資する取組を検討・整理した。

本報告書では、第1章で本研究の背景や目的等、全体的な枠組みを示し、第2章では文献研究や調査等から、通常の学級と通級指導教室の連携の実態や、通常の学級における言語障害のある子どもの困難さ、通常の学級における配慮等について検討・整理した。第3章では言語障害のある子どもの通常の学級における困難さの軽減のために、通常の学級と通級指導教室の連携を通して行っていくつかの取組について報告・検討した。第4章では本研究において収集した資料・知見から、通常の学級と通級指導教室の連携を進めていく上での要件を議論した。第5章では本研究から得られた知見を総合的に考察、整理した。巻末には、資料として、本研究に参画した研究研修員及び本研究の研究パートナーの取組の一部を掲載した。

本報告書が言語障害のある子どもの通常の学級における学習や生活の向上に寄与し、また、通常の学級と通級指導教室の連携・協力を進めていく上で役立つものとなれば幸いである。

本研究の実施に当たり直接ご協力いただいた研究協力者、研究協力機関の皆様、実践研究への協力と本報告書への掲載を了承してくださったお子さんと保護者の皆様、資料の提供や、調査にご協力いただいた通常の学級や通級指導教室の先生方、研究会等で情報をくださった皆様に深く感謝申し上げますとともに、今後も多くの皆様からご支援・ご助言いただけるよう祈念する次第である。

研究代表者 教育研修・事業部主任研究員 牧野 泰美

目次

はじめに

目次

第1章 研究の概要	… 1
I 背景と目的	… 3
II 方法	… 4
III 研究の経過	… 6
第2章 通常の学級と通級指導教室の指導・支援、相互連携の現状	… 7
I 通常の学級を視野に入れた言語障害教育研究・実践の動向	… 9
II 通常の学級と通級指導教室の連携の実態	…15
III 通常の学級担任が実施しやすい配慮について	…21
IV 言語障害のある子どもが通常の学級で感じる困難さ	…26
第3章 通常の学級における学習・生活を円滑にするための取組の実際	…31
I 通級児を通常の学級担任につなぐ取組 就学前後の時期における通常の学級との連携	…33
II 通級児の負担感軽減の取組 通級指導教室と在籍校が協働して行う支援	…41
III 通級児と通常の学級の子どもをつなぐ取組 吃音のある児童と在籍学級の子どもたちをつなぐ取組	…50
IV 通級指導教室や通級児のことを知ってもらう取組 理解啓発活動を通して	…60
第4章 通常の学級と通級指導教室の連携を進めていく上で	…69
I 通常の学級の立場から 通常の学級担任の時を振り返って連携を考える	…71
II 通級指導教室の立場から 通級担当者が行う学級担任との連携について	…79
III 言語障害教育研究・臨床の知見から ことばの教室の専門性を生かした役割（「つなぐ」支援）を考える	…90
IV 相互の指導効果及び学校全体の在り方の観点から 通常の学級とことばの教室との連携が機能していくために	…95
V 地域の言語障害教育の実践・研修の実態から 「ある」ものをつかい考え工夫し、伝え創りあう連携・協働	…100
第5章 総合考察とまとめ	…113

資料	…119
I 研究研修員の取組から 通常の学級担任が実施する言語障害のある子どもへの配慮 に関する検討	…121
II 研究パートナーの取組から 吃音や自分と向き合う子どもの育成 ーことばの教室でできることー	…130

研究体制

おわりに